## 2020年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)

2019年7月26日

上場会社名 株式会社ベクター 上場取引所 東

コード番号 2656 URL http://www.vector.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)梶並 伸博

問合せ先責任者(役職名)執行役員管理部長 (氏名)梶並 京子 TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日

配当支払開始予定日

(1) 経営成績(累計)

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

#### 1. 2020年3万知为1四十朔07条旗(2013年4万1日 2013年0万30日

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	283	16.3	25		25		27	
2019年3月期第1四半期	243	14.3	62		62		64	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2020年3月期第1四半期	2.01	2.01
2019年3月期第1四半期	4.64	

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,661	1,087	65.4
2019年3月期	1,926	1,059	55.0

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 1,087百万円 2019年3月期 1,059百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	
2019年3月期		0.00		0.00	0.00	
2020年3月期						
2020年3月期(予想)						

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年 3月期の業績予想(2019年 4月 1日~2020年 3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収	双益	営業和	川益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期     純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	495	6.5	32		23		21		1.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、第3四半期を除き通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は、3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無以外の会計方針の変更 : 無会計上の見積りの変更 : 無修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	14,007,000 株	2019年3月期	14,007,000 株
2020年3月期1Q	127,200 株	2019年3月期	127,200 株
2020年3月期1Q	13,879,800 株	2019年3月期1Q	13,879,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1)経営成績に関する説明

2020年3月期第1四半期累計期間(2019年4月1日~2019年6月30日)におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が持続しているものの、通商問題の動向が日本経済及び世界経済に影響を与えることが懸念されております。個人消費は持ち直しているものの、生産・設備投資・輸出が弱く、企業収益の改善は足踏みが続いております。

当社の事業領域であるソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、前年度の国内パソコン出荷台数が昨年対比で増加となったものの、2020年1月に予定されているWindows7のサポート終了など、法人市場の拡大が続いており、減少が続く個人需要を法人需要が牽引するかたちとなっております。

このような環境のもと、ソフトウェア販売事業につきましては、販売施策等で拡販施策により当第1四半期の営業収益は前年同四半期に比べて大幅な増収の結果となりました。

また、ソフトバンク(㈱との業務提携により2019年1月より開始した「App Pass」の運用業務を開始したことにより、営業収益及び営業利益が増加しております。

なお、ゲーム市場での競争の激化、パソコン向けゲーム市場の縮小等の影響を受け、パソコン向けゲーム、スマートフォン向けゲーム等のサービスを提供しておりましたオンラインゲーム事業を2019年5月8日付けでライオンズフィルム㈱へ譲渡しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の営業収益は2億83百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益25百万円(前年同期は62百万円の営業損失)、経常利益は25百万円(前年同期は62百万円の経常損失)、四半期純利益は27百万円(前年同期64百万円の四半期純損失)となりました。

当第1四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位: 千円、%)

	第32期第1四半期累計期間			
	金額	前年同期比	構成比	
App Pass事業	145, 614		51. 4	
ソフトウェア販売事業	94, 000	17.6	33. 2	
サイト広告販売事業	9, 673	17. 2	3. 4	
オンラインゲーム事業	32, 214	△78.8	11. 4	
その他	1, 734	△50.0	0.6	
合計	283, 236	16. 3	100.0	

#### App Pass事業

当第1四半期累計期間におけるApp Pass事業の販売金額は、1億45百万円(前年同期の販売金額はありませんでした)となりました。2019年1月よりApp Pass運用受託を開始したことにより、App Pass事業として設定しております。App Pass利用者数に応じた収入が当該事業の販売金額となっております。

#### ソフトウェア販売事業

当第1四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、94百万円(前年同期比17.6%増)となりました。法人向け市場は底堅く推移し、個人向け市場は減少が続いておりましたが、法人向け市場への利便性を高めるサービスを拡充したりソフトウェアの拡販施策等を実施したことにより、販売金額は増加に転じました。

## サイト広告販売事業

当第1四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、9百万円(前事業年度比17.2%増)となりました。ネットワーク配信型広告(キーワード広告、ユーザーの傾向を分析する行動ターゲティング広告等)の営業収益は、配信単価の上昇の影響を受けて大幅に増加しております。

### その他

当事業年度におけるその他の販売金額は、1百万円(前事業年度比50.0%減)となりました。その他の販売金額には、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスの販売金額が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

### 財政状況の変動状況

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ2億65百万円減少して16億61百万円となりました。また、負債合計が前事業年度末に比べ2億93百万円減少して5億74百万円となり、純資産合計が前事業年度末に比べ27百万円増加して10億87百万円となりました。

#### (資産)

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が1億26百万円、売掛金が66百万円、未収入金が37百万円減少したこと等によるものです。

固定資産減少の主な要因は、無形固定資産が43百万円減少したこと等によるものです。

#### (負債)

流動負債減少の主な要因は、未払金が1億48百万円、預り金が55百万円、事業譲渡損失引当金が32百万円、賞与引当金が18百万円減少したこと等によるものです。

固定負債減少の要因は、退職給付引当金が12百万減少したことによるものです。

#### (純資産)

純資産増加の主な要因は、四半期純利益27百万円を計上したこと等によるものです。 また、自己資本比率は65.4%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年1月から開始したApp Pass事業の動態及び5月にオンラインゲーム事業を譲渡したこと、これらに伴う営業費用の見直しなど収益構造の大幅な変更が持続しております。現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であり、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

2020年3月期第2四半期累計期間の業績は、営業収益4億95百万円(前年同四半期は4億64百万円 6.5%増)、営業利益32百万円(前年同四半期は1億32百万円の営業損失)、経常利益23百万円(前年同四半期は1億31百万円の経常損失)、四半期純利益21百万円(前年同四半期は1億33百万円の四半期純損失)を見込んでおります。

# 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

	前事業年度	当第1四半期会計期間
	(2019年3月31日)	(2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	757, 242	630, 92
売掛金	212, 872	146, 86
未収入金	318, 438	281, 28
その他	28, 367	20, 71
貸倒引当金	△3, 247	$\triangle 2,94$
流動資産合計	1, 313, 673	1, 076, 84
固定資産		
有形固定資産	5, 627	5, 37
無形固定資産		
ソフトウエア	485, 833	441, 66
その他	328	65
無形固定資産合計	486, 161	442, 32
投資その他の資産	121, 455	137, 10
固定資産合計	613, 245	584, 80
資産合計	1, 926, 918	1, 661, 64
負債の部		
流動負債		
買掛金	60, 556	51, 45
未払金	167, 686	18, 91
未払法人税等	9, 652	3, 29
預り金	493, 293	437, 65
賞与引当金	24, 021	5, 68
事業譲渡損失引当金	32, 477	
その他	32, 693	23, 12
流動負債合計	820, 382	540, 12
固定負債		
退職給付引当金	47, 066	34, 16
固定負債合計	47, 066	34, 16
負債合計	867, 449	574, 29
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 018, 718	1, 018, 71
資本剰余金	1, 407, 715	1, 407, 71
利益剰余金	$\triangle 1, 272, 019$	△1, 244, 13
自己株式	△94, 952	△94, 95
株主資本合計	1, 059, 462	1, 087, 35
新株予約権	5	
純資産合計	1, 059, 468	1, 087, 35
負債純資産合計	1, 926, 918	1, 661, 64

# (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	243, 561	283, 236
営業費用	305, 906	257, 962
営業利益又は営業損失 (△)	△62, 345	25, 274
営業外収益		
受取利息	_	997
為替差益	2	178
貸倒引当金戻入額	-	299
受取手数料	136	2, 153
その他	44	4
営業外収益合計	182	3, 633
営業外費用		
事務所移転費用	775	1, 584
通信費	-	2, 316
営業外費用合計	775	3, 900
経常利益又は経常損失(△)	△62, 937	25, 006
特別利益		
固定資産売却益	-	0
事業譲渡損失引当金戻入額	_	2, 996
その他	-	122
特別利益合計		3, 119
特別損失		
固定資産除却損	842	
特別損失合計	842	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△63, 780	28, 126
法人税、住民税及び事業税	572	237
法人税等調整額		
法人税等合計	572	237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64, 352	27, 888

# (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。